



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当 毎年3月31日  
 中間配当を行う場合 毎年9月30日  
 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)  
 公告方法 電子公告の方法により行います。  
 ホームページアドレス <http://www.honyakuctr.com>  
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
 中央三井信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店  
 ならびに日本証券代行株式会社の本店および  
 全国各支店で行っております。  
 上場証券取引所 大阪証券取引所  
 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」  
 証券コード 2483

・住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の  
 口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

見通しに関する注意事項

この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想  
 および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現  
 時点ですべて入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度な  
 どに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと  
 異なる可能性があることをご承知おさください。

—— ホームページのご案内 ——



▲ トップページ

▲ IR情報ページ

当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。是非ご活用ください。

<http://www.honyakuctr.com>



株式会社 翻訳センター

お問合せ先  本社

〒541-0046  
 大阪市中央区平野町2丁目5番8号  
 平野町センチュリービル9F  
 Tel : 06-6204-1640  
 e-mail : [info@honyakuctr.co.jp](mailto:info@honyakuctr.co.jp)



第24期 中間期のご報告

2009年4月1日～2009年9月30日

株式会社 翻訳センター







代表取締役社長  
東 郁男

## 特許・医薬・工業・金融の主要4分野と、 ニーズの高い専門分野の拡大により 再び成長路線を描いてまいります。

### 顧客ニーズに柔軟に対応した 積極的な営業展開を図る

株主の皆様には、ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。  
日頃より温かいご支援ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、昨秋以降の国際金融市場混乱の影響を受け、企業収益の悪化が続く中、企業の在庫調整の一巡や政府の経済対策の効果により、一部業界の生産活動や輸出については持ち直しの動きがみられますが、総体的に依然として厳しい環境にあります。このような状況のもと、当社グループは、翻訳業界のリーディングカンパニーとしての規模、組織力などの強みや特徴を活かし、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業活動を展開してまいりました。しか

### 第一次中期経営計画（2008年4月1日～2011年3月31日）の重点施策について

当社グループは本年5月に第一次中期経営計画を修正いたしました。修正計画においても、「産業翻訳業界のデファクトスタンダードを目指して、中長期的な成長を支える収益基盤を構築し、主要事業領域である特許・医薬・工業・金融の4分野の拡大に注力する」という基本方針は維持しつつ、次の重点施策を推進してまいります。

#### 1 人員計画の見直し

2008年5月発表の先行投資的な人員採用計画を変更し、今後2年間は大規模な採用計画を停止します。

#### 2 「翻訳プラットフォーム」の構築

当社の保有する翻訳ノウハウや情報資産をデータベースとして蓄積し、品質基準を満たした翻訳の安定的供給や、翻訳者の作業効率向上を目指します。

#### 3 高付加価値サービスと集中購買化の促進

医薬品・医療機器申請資料を作成するメディカルライティング業務や、特許の外国出願支援などの新サービスを推進します。

#### 4 米子会社の黒字化

米子会社HC Language Solutions, Inc.は、主力のメディア・コンテンツ事業に加え、主要4分野の受注も増加。大幅なコスト削減も推進し、早期の黒字化を目指します。

しながら企業の予算減少や発注抑制の影響は大きく、売上高は2,039百万円（前年同期比8.4%減）となりました。利益面につきましては、販売管理費の削減に努めたものの、売上高の減少分を補うにはおよばず、営業利益53百万円（前年同期比64.3%減）、経常利益54百万円（前年同期比63.3%減）、四半期純利益28百万円（前年同期比62.7%減）となりました。

### 翻訳支援ツール「HC TraTool」の特性を活かした サービスを加速させる

下半期の見通しにつきましては、国内外の経済環境が依然として不透明であり、厳しい状況が継続すると予測しています。当社グループでは、主要4分野の強化に加えて、集中購買化提案の促進など翻訳支援ツール「HC TraTool」の特性を活かしたサービスを加速させ、増収努力に取り組んでまいります。これにより通期の業績見通しは、売上高4,600百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益220百万円（前年同期比30.7%減）、経常利益220百万円（前年同期比30.0%減）、当期純利益110百万円（前年同期比29.7%減）を見込んでおります。

また、中期的な取り組みとして「第一次中期経営計画」を策定しております。主要4分野の強化と、ニーズの高い専門分野の拡大、収益基盤の強化を目的とした翻訳プラットフォームの構築などにより、業界内でのシェア拡大を図ってまいります。

市場は厳しさを増しておりますが、コスト増加を必要最小限に抑制し、強固な財務基盤を維持しながら、本来の成長路線に戻すことを最優先課題として事業に取り組んでまいります。株主の皆様には、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

翻訳の品質向上と効率化を  
実現する翻訳支援ツール

TOP CS

## 『HC TraTool』を導入

当社は昨年6月株式会社ロゼッタより許諾をうけた翻訳支援ツール「TraTool」を「HC TraTool」として追加開発し、ご登録の翻訳者ならびに社内での運用を開始いたしました。この「HC TraTool」は翻訳語の揺れや訳抜けなどのヒューマンエラーを防止し、翻訳の品質向上と作業効率化に重点を置いており、また、翻訳者であるユーザーの立場にたった操作性を実現しております。

従来の翻訳支援ツールは、センテンス単位中心の処理でしたが、「HC TraTool」はフレーズ単位の処理を充実させることで品質の安定化を図ります。また、MS officeアプリケーションとの連動により、ひとつの画面に「HC TraTool」と文書画面が同時に表示されます。これによって翻訳者の負担軽減に威力を発揮します。

この「HC TraTool」導入によりツールの特性を活かしたサービスを加速させていきたいと考えています。

### 『HC TraTool』の特徴

- ◆ 翻訳工数を削減することにより、時間コストを削減
- ◆ 従来の翻訳支援ツールと異なり、フレーズ単位の処理が可能
- ◆ MS officeアプリケーションとの連動が可能

## 分野別の概況

GENERAL INTRODUCTION



分野別の売上の状況につきましては、特許分野は、ソースクライアントである企業の出願見送りによって、主な顧客である特許事務所からの受注が減少したため、売上高は前年同期比23.4%減の655百万円となりました。医薬分野では、メディカルライティング案件の受注が堅調な伸びをみせたものの、一部主要顧客で予算の絞込みがみられることに加え、他社との競争が激化したこともあり、前年同期比1.9%減の668百万円となりました。工業分野では、電気機器関連企業からの大型ス

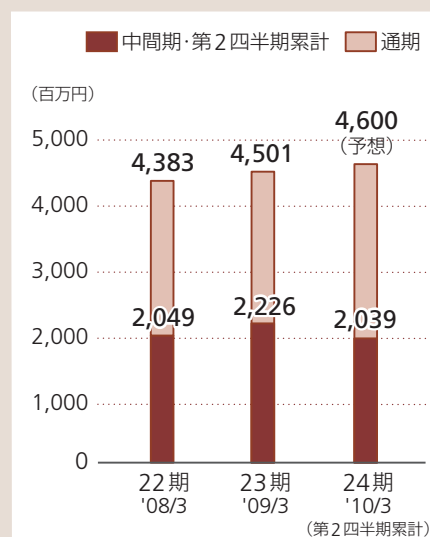
ポット案件の獲得に加え、オンラインゲームやコミックなどのコンテンツ関連企業からの受注が堅調に推移しましたが、自動車関連企業からの受注が引き続き低調であったことから、売上高は前年同期比0.7%減の475百万円となりました。金融分野では、ディスクロージャー資料や保険法改正による約款変更に伴った受注が増加しましたが、国内外の金融機関からの受注が低迷を続けており、売上高は前年同期比1.3%減の177百万円となりました。

## 財務ハイライト

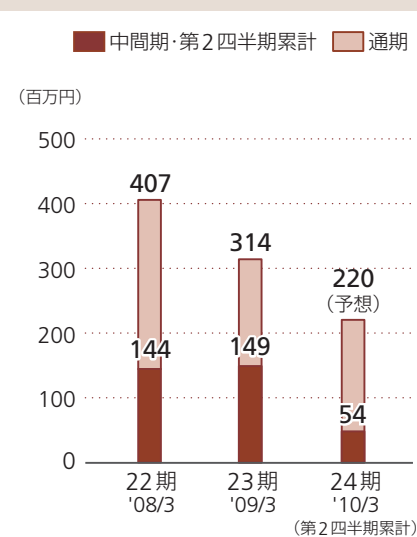
FINANCIAL HIGHLIGHTS



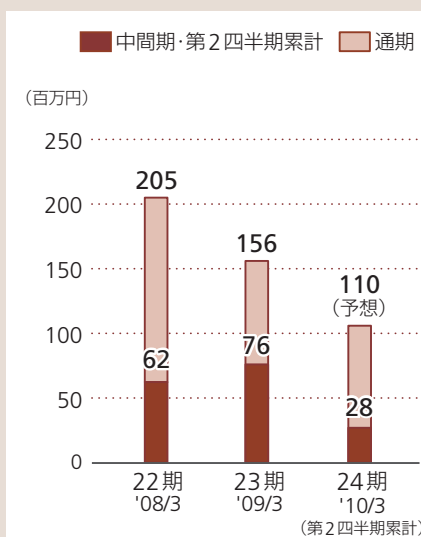
### ■ 連結売上高



### ■ 連結経常利益



### ■ 連結四半期(当期)純利益



## 連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS



### ■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 2009.9.30現在	前期末 2009.3.31現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,724,918	1,818,902
固定資産	478,032	460,706
有形固定資産	54,451	59,249
無形固定資産	177,804	157,089
投資その他の資産	245,775	244,366
資産の部合計	2,202,950	2,279,608
<b>負債の部</b>		
流動負債	501,456	561,063
固定負債	121,353	114,815
負債の部合計	622,810	675,878
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,585,235	1,609,191
資本金	399,818	399,818
資本剰余金	290,198	290,198
利益剰余金	895,219	919,175
評価・換算差額等	△ 5,096	△ 5,461
その他有価証券評価差額金	△ 1,854	△ 2,549
為替換算調整勘定	△ 3,241	△ 2,911
純資産の部合計	1,580,139	1,603,729
負債・純資産の部合計	2,202,950	2,279,608

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当第2四半期(累計) 2009.4.1~2009.9.30	前第2四半期(累計) 2008.4.1~2008.9.30
売上高	2,039,322	2,226,942
売上原価	1,119,870	1,173,154
売上総利益	919,452	1,053,788
販売費及び一般管理費	866,159	904,175
営業利益	53,292	149,612
営業外収益	1,693	1,966
営業外費用	115	1,691
経常利益	54,871	149,887
特別利益	822	42
特別損失	—	2,468
税金等調整前四半期純利益	55,693	147,461
法人税等	27,269	71,155
四半期純利益	28,424	76,305

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当第2四半期(累計) 2009.4.1~2009.9.30	前第2四半期(累計) 2008.4.1~2008.9.30
営業活動による キャッシュ・フロー	65,451	△ 14,531
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 38,219	△ 152,378
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 54,776	△ 47,646
現金及び現金同等物に 係る為替換算差額	△ 1,011	886
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 28,555	△ 213,670
現金及び現金同等物の 期首残高	1,004,115	1,287,950
現金及び現金同等物の 四半期末残高	975,559	1,074,279

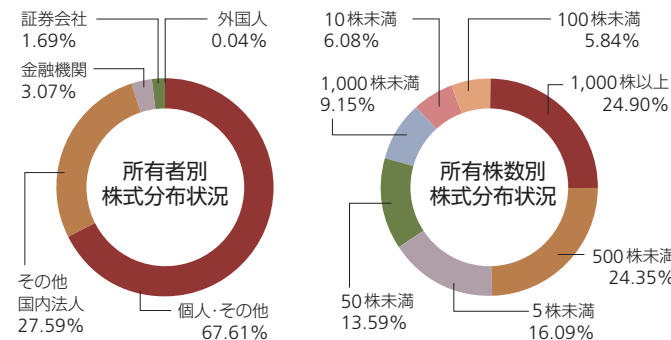
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株式の状況 (2009.9.30現在)

- ▶ 発行可能株式総数 51,400株
- ▶ 発行済株式総数 13,095株 (自己株式はありません)
- ▶ 株主数 1,556名
- ▶ 大株主

株主名	持株数
株式会社 ウィザス	3,260株
東 郁 男	687
池 亀 秀 雄	511
浅 見 和 宏	421
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	347
翻訳センター従業員持株会	321
岩 崎 泰 次	297
角 田 輝 久	261
重 田 康 光	242
二 宮 俊 一 郎	236

■ 株式分布状況




■ 会社概要 (2009.9.30現在)

- ▶ 商 号 株式会社 翻訳センター
- ▶ 設 立 1986年4月
- ▶ 代 表 者 東 郁男
- ▶ 本 社 所 在 地 大阪市中央区平野町2丁目5番8号  
平野町センチュリービル9F
- ▶ 資 本 金 3億9,981万8,000円
- ▶ 従 業 員 数 224名 (連結)
- ▶ 事 業 内 容 翻訳サービス業
- ▶ グループ会社 株式会社国際事務センター  
HC Language Solutions, Inc.  
株式会社HCランゲージキャリア  
北京東櫻花翻訳有限公司

■ 役員

- 代表取締役社長 東 郁 男
- 取 締 役 二 宮 俊 一 郎
- 取 締 役 浅 見 和 宏
- 取 締 役 角 田 輝 久
- 取 締 役 池 亀 秀 雄
- 取 締 役 中 本 宏
- 取 締 役 楠 見 賢 二
- 常 勤 監 査 役 橋 正 宏
- 監 査 役 妙 中 厚 雄
- 監 査 役 松 村 信 夫

IRニュースレビュー

4月	<p><b>大和インベスター・リレーションズ(株)「2009年インターネットIRサイトの優秀企業580社」に2年連続で選定</b></p> <p>当社のウェブサイト「IR情報」が、大和インベスター・リレーションズ(株)が実施する「2009年インターネットIR(投資家向け広報)サイトの優秀企業580社」に2年連続で選定されました。これは、大和インベスター・リレーションズ(株)が主要上場企業2,082社のIRサイトを対象に、独自の定量的採点により毎年選定しているものです。</p> 
5月	<p><b>第23期決算発表</b></p> <p>第23期決算説明会開催</p>
6月	<p><b>第23回定時株主総会開催</b></p>
7月	<p><b>(株)新光総合研究所主催の「個人投資家向けIRセミナー」に参加</b></p> <p>2009年7月24日、(株)新光総合研究所にて開催された「個人投資家向けIRセミナー」に参加いたしました。当日は悪天候の中、多数の個人投資家の方にご来場いただき、当社事業について理解を深めていただきました。</p> <p><b>(社)日本証券アナリスト協会主催の「第10回一般個人向け説明会(東京)」に参加</b></p> <p>2009年7月15日、(社)日本証券アナリスト協会主催にて行われた「第10回一般個人向け説明会(東京)」に参加いたしました。当日は多数の個人投資家の方にご来場いただき、当社事業について理解を深めていただきました。</p>
8月	<p><b>第24期第1四半期決算発表</b></p>
9月	<p><b>(社)日本証券アナリスト協会主催の「第5回一般個人向け説明会(大阪)」に参加</b></p> <p>2009年9月15日、(社)日本証券アナリスト協会主催にて行われた「第5回一般個人向け説明会(大阪)」に参加いたしました。当日は多数の個人投資家の方にご来場いただき、当社事業について理解を深めていただきました。</p>

下半期IRカレンダー

以下、下半期IRカレンダーとなります。引き続き皆様には正確で迅速な情報提供を心がけてまいります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第24期第2四半期決算発表 第24期第2四半期決算説明会			第24期第3四半期決算発表